

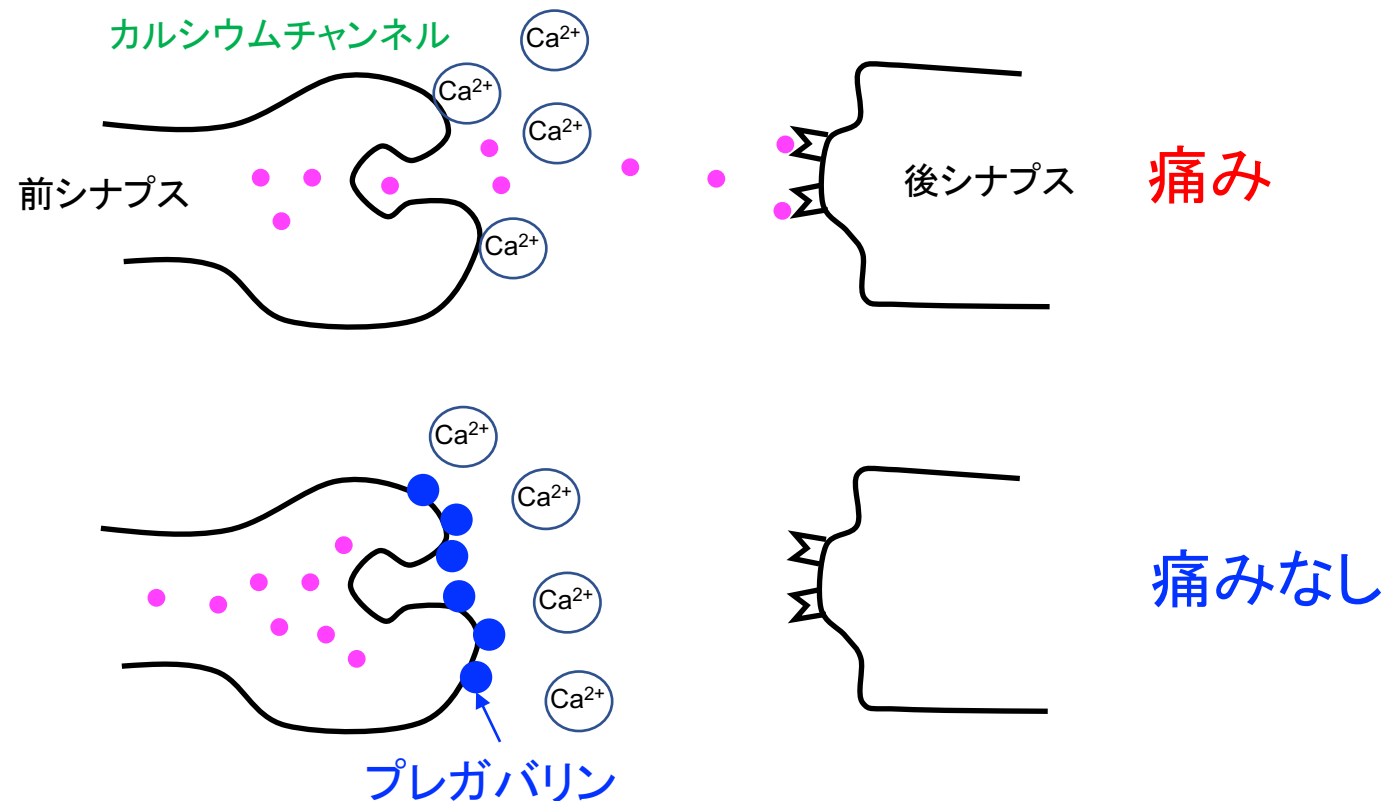
痛みの原因

①外傷性 : 切り傷や打撲によって起こる炎症による痛み ←NSAIDs

②神経性 : 神経が障害されることによる痛み ← プレガバリン

帯状疱疹後神経痛、腰痛症、坐骨神経痛、糖尿病神経障害、脳卒中後疾通、脳梗塞後遺症

③心因性 : 心理・社会的な要因による痛み



プレガバリンの副作用

- ・浮動性めまい
- ・眠気
- ・むくみ
- ・体重増加
- ・心不全
- ・肺気腫

鎮痛剤

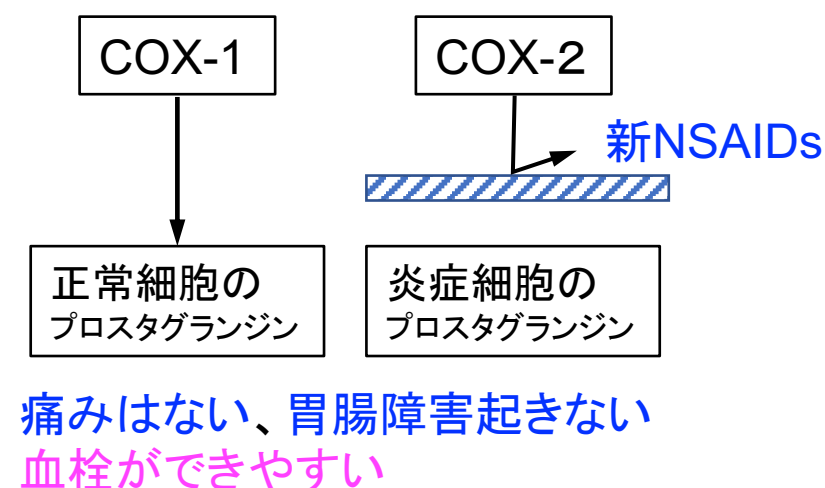
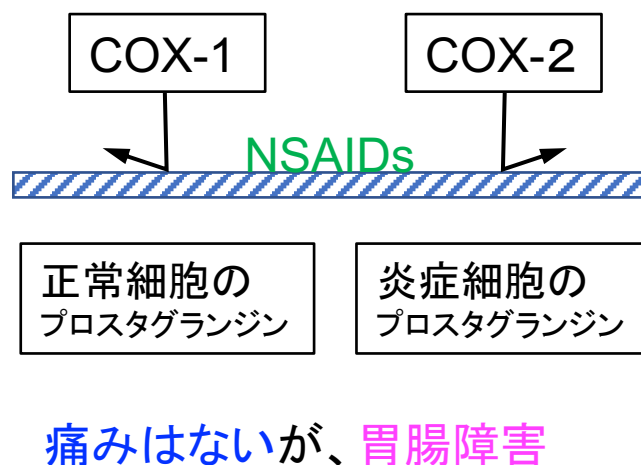
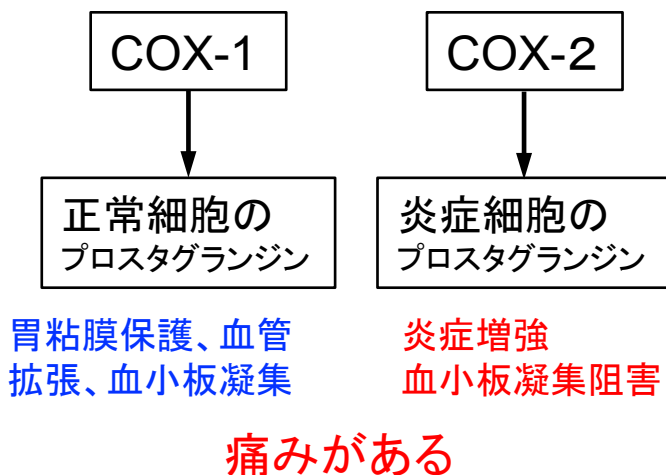
オピオイド鎮痛薬(麻薬)

ステロイド

非ステロイド性抗炎症薬
アセトアミノフェン
プレガバリン

①非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs: Non-Steroidal Anti-Inflammatory Drugs) エヌセイド、エヌセイズと読む

	ピリン系	非ピリン系
処方箋	スルピリン メチロンなど)	アスピリン(バファリンなど) ロキソプロフェン(ロキソニンなど) ジクロフェナク(ボウルタレンなど) インドメタシン(インダシンなど) メフェナム酸(ポンタールなど)
市販薬	イソプロピルアンチピリン (セデス・ハイ)	アスピリン(バファリンなど) イソプロフェン(イブなど) エテンザミド(ノーシン、新セデスなど) アセトアミノフェン(小児用バファリンなど)



NSAIDsの禁忌 子供のインフルエンザ罹患時 インフルエンザ脳症の危険性(死亡率35%以上、25%後遺症)

②アセトアミノフェン 解熱・鎮痛作用あり。抗炎症作用はほとんどない。胃腸障害の副作用なし。肝機能障害あり。
小児、妊婦に広く使われる。

ACE処方: アセトアミノフェン＋カフェイン＋エテンザミド 市販薬に配合、安全性高い
Acetaminophen Caffeine Enthenzamide

商品: サリドンエース、ノーシンホワイト、新セデス錠、ナロン錠、ハッキリエースa、ノーシン錠

③ステロイド 膠原病、血液疾患、アトピー性皮膚炎、気管支喘息など多くの疾患に使用
副作用の宝庫
自己判断で薬の増減をせず、医師の指示通り守る

④オピオイド鎮痛剤 脳や脊髄に直接作用して痛みを抑える薬の総称
がんの疼痛など激しい痛みにも用いられる

⑤非NSAIDs鎮痛剤 プレガバリン(商品名:リリカ)

